

「新指定・新登録・新選定」答申物件

《特別史跡の新指定》

【特別史跡】 1件

「日本列島における後期旧石器時代から縄文時代への移行を連続的に示す^{どうくつ}洞窟遺跡」

1 ^{ふくいどうくつ}福井洞窟【^{させほし}長崎県佐世保市】

日本列島の西端の長崎県佐世保市に所在する砂岩^{どうくつ}洞窟。後期旧石器時代から縄文時代草創期にかけての石器群の変遷と土器の出現過程が初めて明らかにされた遺跡であるとともに、環境変動と連動した遺跡の形成過程が明らかにされた遺跡として極めて重要。



提供：佐世保市

《史跡名勝天然記念物の新指定》

【史跡】 10件

「東北北部の山地に位置する、保存状態がきわめて良好な平安時代後半の高地性集落」

1 ^{くろやま むかしあないせき}黒山の昔穴遺跡【^{くのへぐんくのへむら}岩手県九戸郡九戸村】

東北北部の標高約430mの山地に位置する、保存状態がきわめて良好な平安時代後半の高地性集落。竪穴建物跡等が窪みとして残り、その数は65基に及ぶ。平安時代後期における山地の集落の在り方、成立事情や目的を知る上で重要。



提供：九戸村

「^{にしかた}国人領主西方氏の城館跡。中世から近世の城館の形態と変遷や築城技術を知る上で重要」

2 ^{にしかたじょうあと}西方城跡【^{とちぎし}栃木県栃木市】

宇都宮氏家中の国人領主である^{にしかた}西方氏が築いた中世後半から近世初頭の山城。城主の交代や北関東の政治的緊張と連動して山城の規模や構造も大きく変遷し、当該期の城館の形態と変遷や築城技術を知る上で重要。



撮影：白鳥昇一

「^{こくぶん に じ}聖武天皇が全国に建立させた国分尼寺の一つ。^{こんどう}金堂跡、^{かいろう}回廊跡、^{にぼう}尼坊跡などを検出」

3 ^{こうずけこくぶんにじあと}上野国分尼寺跡【^{たかさきし}群馬県高崎市】

聖武天皇が全国に建立させた^{こくぶん に じ}国分尼寺の一つ。史跡上野国分寺跡の300m東方に位置する。^{がらん}伽藍の範囲は162m四方で、礎石建の^{こんどう}金堂跡、^{かいろう}回廊跡、^{にぼう}尼坊跡などを検出。創建は8世紀中葉ころで、11世紀代までには廃絶に至る。律令国家の仏教政策を理解する上で重要。



提供：高崎市

「縄文時代中期後葉から後期前葉に営まれた関東最大級の環状集落跡」

4 ^{いせき}デーノタメ遺跡【^{きたもとし}埼玉県北本市】

縄文時代中期後葉から後期前葉に営まれた大規模な環状集落跡。台地の下には^{みずばいこう}水場遺構を伴い、当時の植物資源の利用実態と生活の変遷を示している。東日本における縄文時代中期から後期に至る社会の変革と集落の様相を知る上で重要。



提供：北本市

「岐阜県の南端中央に所在する、墳長120メートルを測る岐阜県下第二位の前方後円墳」

5 坊の塚古墳【岐阜県各務原市】

岐阜県の南端中央に所在する、古墳時代前期末頃に築造された墳長120メートルの前方後円墳。副葬品として鉄製品、滑石製品かつせきせいひんが知られ、墳丘からは円筒埴輪えんとうはにわや底部穿孔壺形土器ていぶせんこうつぼがたどき、小型土器、食物形土製品しょくもつがたなどが出土している岐阜県下第二位の前方後円墳であり、古墳時代の政治と社会を知る上で重要。



提供：各務原市

「山麓から山上に移った室町幕府奉公衆の東氏の館と撤退後に造られた山城」

6 東氏館跡及び篠脇城跡【岐阜県郡上市】

室町幕府奉公衆で和歌等に秀でた東氏とうが15世紀前葉頃に構えた館と、戦乱の中で山上に居館を移し、東氏撤退後に城郭化を進めた山城。

16世紀半ば、発達した畝状空堀群等の遺構を築き、北美濃地方と越前との要衝に位置する城郭となった。居館の山上への移転や城郭化の進展が判明する。名勝東氏館跡庭園の指定範囲を含む。



提供：郡上市

「3世紀中頃に水陸交通の要衝に築造された東日本最古級の大規模前方後方墳」

7 高尾山古墳【静岡県沼津市】

3世紀中頃に水陸交通の要衝に築造された東日本最古級の大規模前方後方墳であり、豊富な副葬品や外来系土器は広域に及ぶ他地域との交流を示している。古墳文化の東日本への広がりやヤマト政権成立期における政治的、社会的情勢を知る上で重要。



提供：沼津市

「^{おとくにそうこく}乙訓惣国」の一員であった^{もずめ}物集女氏の城跡。京都近郊に現存する数少ない中世城館」

8 ^{もずめじょうあと}物集女城跡【^{むこうし}京都府向日市】

桂川右岸に位置する^{おとくにぐん}乙訓郡、^{かどのぐん}葛野郡一帯の^{にしのおか}西岡と呼ばれる地域に勢力のあった、「乙訓惣国」の一人として活躍した^{もずめ}物集女氏の城跡。東西約70m、南北約75mの方形の居館で、堀や土塁が残る。京都近郊に残る中世城館は現存するものは数少なく、畿内近国の中世の政治経済状況を知る上で重要。



提供：向日市

「西南四国に位置し、西日本太平洋側に稀有な縄文時代後期を中心とする貝塚遺跡」

9 ^{ひらじょうかいづか}平城貝塚【^{みなみう わぐんあいなんちょう}愛媛県南宇和郡愛南町】

西南四国に位置する縄文時代後期を中心とする貝塚遺跡。明治時代に発見され、縄文時代後期「平城式」土器の標式遺跡であり、南北170m、東西88mの範囲に複数の地点貝塚や^{ちよぞうけつ}貯蔵穴、埋葬人骨を伴う^{どこうぼ}土坑墓等が検出されている。当時の生業や墓制を考える上で重要。



提供：愛南町

「^{くにさきはんとう}国東半島にある天台宗寺院や岩屋の総称。古代から中世の信仰のあり方を知る上で重要」

10 ^{ろくごうさん}六郷山【^{くにさきし}大分県国東市・^{ぶんごたかだし}豊後高田市】

平安時代以降に整備された、国東半島にある天台宗寺院や岩屋の総称。縦に上っていく参道を持ち両脇に^{どうう}堂宇を配置する山の寺の代表である^{いわとじ}岩戸寺と^{ちょうあんじ}長安寺、谷に位置する寺の代表である^{てんねんじ}天念寺と^{えびすいわや}夷岩屋の各境内を指定する。古代から中世の信仰のあり方を理解する上で重要。



提供：豊後高田市

【名勝】 2件

「昭和10年代に、京都帝国大学教授鳥潟隆三が実家の増改築とともに整備した池泉庭園」

1 鳥潟会館庭園【秋田県大館市】

昭和10年代に、京都帝国大学医学部教授鳥潟隆三が実家の増改築とともに整備した池泉庭園。隆三自らの指示に基づき、京都の庭師が中心となって施工した。中島のある園池、芝生広場などが設けられ、園路を巡りながらさまざまな景観を楽しむことができる。



提供：大館市

「金沢城下の大野庄用水を取り込んで大正時代に造営された住宅庭園」

2 西氏庭園【石川県金沢市】

大正時代に造営された住宅庭園で、金沢城下の大野庄用水を取り込んで園池を成し、奥に築山を配して、矩形に配置された主屋と離れからの観賞とともに回遊を楽しむことができる立体的な構成に特徴があり、県内外の大小様々な石材を配する意匠も優れている。



提供：金沢市

《登録記念物の新登録》

【遺跡関係】 1件

「幕末、紀州藩や幕府・朝廷へ海防献策し、地域の青年教育に尽力した菊池海荘の宅跡」

1 菊池海荘宅跡【和歌山県有田郡湯浅町】

湯浅出身で、江戸で薬種・砂糖問屋を経営した菊池海荘の宅跡。海荘は、幕末、紀州藩や幕府・朝廷へ紀淡海峡の海防を献策し、地域の青年教育に尽力した。漢詩文を善くし、文人ネットワークの中核として、民衆からの明治維新を担った人物の一人。敷地の西と北を画する土塀や、図面と一致する井戸等の遺構が敷地内に残る。



提供：湯浅町

【名勝地関係】 2件

「会津藩政時代の湯治場を継ぐ温泉旅館に明治から昭和にかけて整えられた庭園」

1 会津東山温泉向瀧庭園【福島県会津若松市】

会津藩政時代の湯治場を継いで明治時代に開業した温泉旅館の庭園で、昭和時代初期の増築で客室棟に取り囲まれるように斜面と園池を配し、春のサクラ、夏のホタル、秋の紅葉、冬の雪明かりと、様々な視点から四季折々の景色を豊かに楽しむことができる意義深い事例。



提供：株式会社 向瀧

「昭和45年に開催された日本万国博覧会において政府出展施設として整備された庭園」

2 日本万国博覧会記念公園日本庭園【大阪府吹田市】

昭和45年に開催された日本万国博覧会において政府出展施設として整備された庭園で、総面積は25万㎡に及ぶ。上代、中世、近世の各時代の特徴を表現した池泉庭園と現代の日本庭園を設け、それらを溪流でつないでいるほか、枯山水や露地（茶庭）も造られている。



提供：大阪府

《重要文化的景観の新選定》

「関東平野北端において、凝灰岩が露頭する農村の採石産業による発展を伝える文化的景観」

1 大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観【栃木県宇都宮市】

関東平野北端部、凝灰岩が丘陵を成す宇都宮市大谷地域において、農村が、近世に農家の副業として始められた採石を近代以降に地場産業とし、発展してきたことを伝える。信仰や観光の対象であり続ける、侵食や採石によって形成された奇岩群等が特徴を成す。



提供：宇都宮市